

# みなみん

学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」

令和3年12月17日  
練馬区立南田中小学校  
みなみん学級だより  
NO.31



「ナンタナ音楽学習発表会」には、多くの保護者の皆様にご鑑賞いただき、ありがとうございました。また、日課帳や学校からのアンケート用紙に、たくさんの感想をお寄せいただき、私たちにとっても励みとなりました。今回は、本番を迎えるまでの子供たちの取組と、当日の様子についてお知らせいたします。

## ☆ナンタナ音楽学習発表会 大成功でした！☆

9月の音楽では、ディズニーのいろいろな曲を聴いて、聴いた感じを発表する、という鑑賞の授業を行いました。ディズニーの曲に合わせてリズムを打つ、リズム学習もしました。こうして、音楽会に向けての歩みが始まりました。

10月に入り、感染者数の状況から、区のガイドラインも緩和され、歌ったり鍵盤ハーモニカを吹いたりすることもできるようになってきました。音楽会に向けての練習も少しずつ始まりました。学校からの「みどころ ききどころ」にも記載されているように、今回演奏したディズニーのメドレー曲は、全て、子供たちが選んだ曲です。さらに、グループ合奏で演奏した曲は、「自分は〇〇の曲を演奏したい。」と自分で選んだものです。5、6年生は、グループ合奏曲が2～3曲あったので、自分が選んだ曲は何なのか、お子さんに聞いてみてください。

11月に入り、自分は何の曲を、どんな楽器で、どのように演奏していくのかが分かってきたところで、みなみん学級だより NO.27 に掲載の、自分のめあてを決める授業を行いました。その文面に、「めあてをもって練習した成果を、保護者の皆様の前で発表したいと思う。」と書きましたが、今回の演奏を聴き、また子供たちの姿をご覧になって、保護者の皆様はどのように感じられたでしょうか？めあてをもって練習した成果を感じていただければ嬉しいな、と思っています。

12月の本番では、歌「元気 勇気 ちから」は、学級としてのめあて「ハッピーな気持ち」で、「聴いている人たちに元気になってもらえるように歌う。」ことを目指しました。ピアノの前奏が鳴るとすぐに、子供たちは身体を揺らしたりしていましたが、これは、音楽が身体の中に入り、ハッピーな気持ちになったことの現れでした。全員合奏「ミッキーマウスマーチ」では、全員で力（心）を合わせるためには、指揮者を見ることがと友達の音をよく聴くことが大事でした。メロディーやリズムを間違えないことよりもっと大事なことは、曲に入るところや終わるところを合わせることでした。また、音を出さないところでは、音をピタッと止めることが、みんなが揃うためには大事なことです。子供たちは、教えられたことをとてもよく守っていたと思います。そのため、歯切れのよい「ミッキーマウスマーチ」の演奏になったのではないかと考えています。グループ合奏では、自分がやりたい曲だったので、モチベーションをもち続け、元気な曲、優しい曲、と、その曲想に応じた演奏ができていました。

ナンタナ音楽学習発表会後の振り返りでは、「たくさん練習したからできるようになった。」「腕を回して、きれいな音が出せた。」「大成功してうれしい。」「やりきった。」などの感想をめあてカードに書いていました。子供たちにとって、楽しく取り組みながら自分のめあてが達成でき、満足のいく「ナンタナ音楽学習発表会」となったと思います。

保護者の皆様におかれましては、当日までの子供たちの体調管理をはじめ、励ましの言葉をかけていただきましたこと、厚く御礼申し上げます。